

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成28年7月14日(2016.7.14)

【公開番号】特開2015-73637(P2015-73637A)

【公開日】平成27年4月20日(2015.4.20)

【年通号数】公開・登録公報2015-026

【出願番号】特願2013-210523(P2013-210523)

【国際特許分類】

A 6 1 F 13/15 (2006.01)

A 6 1 F 13/49 (2006.01)

A 6 1 F 13/53 (2006.01)

【F I】

A 4 1 B 13/02 T

A 4 1 B 13/02 B

【手続補正書】

【提出日】平成28年5月30日(2016.5.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

前胴回り域と、後胴回り域と、前記前胴回り域と前記後胴回り域との間に位置する股下域とを有し、

前記前胴回り域から前記後胴回り域に向かう製品長手方向と、前記製品長手方向と直交する製品幅方向と、を備え、

前記股下域を跨ぎ前記前胴回り域及び前記後胴回り域に延びる吸収性コアと、

着用者の腰が挿入される腰回り開口部と、

前記着用者の脚が挿入される脚回り開口部と、を備える使い捨ておむつであって、

前記吸収性コアが配置された吸収性コア配置領域には、前記吸収性コアが厚み方向に曲がることができるように形成された曲部が形成されており、

前記曲部は、前記前胴回り域において前記製品幅方向に延びており、

前記曲部に沿って配置され、前記製品幅方向に伸縮する第1伸縮性部材と、

前記第1伸縮性部材よりも前記製品長手方向外側に配置され、前記製品幅方向に伸縮する第2伸縮性部材と、を有する、使い捨ておむつ。

【請求項2】

前記第1伸縮性部材が配置された第1領域の伸縮率は、前記第2伸縮性部材が配置された第2領域の伸縮率よりも高い、請求項1に記載の使い捨ておむつ。

【請求項3】

前記曲部は、前記着用者の中腹部と下腹部の境界に対応して配置され、

前記第2領域は、前記着用者の中腹部に対応して配置される、請求項2に記載の使い捨ておむつ。

【請求項4】

前記曲部は、前記吸収性コアに形成された切欠き、前記吸収性コアを厚み方向において圧搾した圧搾部、前記吸収性コアにおいて周囲の前記吸収性コアと目付が異なる目付境界部、前記吸収性コアにおいて周囲の前記吸収性コアと厚みが異なる厚み境界部、前記吸収性コアにおいて周囲の前記吸収性コアと密度が異なる密度境界部、及び前記製品幅方向に

伸縮する伸縮部のうち、少なくともいずれかを含んで形成されている、請求項 1 から請求項 3 のいずれかに記載の使い捨ておむつ。

【請求項 5】

前記第 1 伸縮性部材は、前記曲部よりも前記製品長手方向外側において前記曲部に隣接して配置されている、請求項 1 から請求項 4 のいずれかに記載の使い捨ておむつ。

【請求項 6】

前記曲部は、前記製品幅方向外側端部から前記製品幅方向中央に向かって前記股下域側に突出している、請求項 1 から請求項 5 のいずれかに記載の使い捨ておむつ。

【請求項 7】

前記第 1 伸縮性部材は、前記製品幅方向外側端部から前記製品幅方向中央に向かって前記股下域側に突出している、請求項 1 から請求項 6 のいずれかに記載の使い捨ておむつ。

【請求項 8】

前記使い捨ておむつの伸長状態において、前記使い捨ておむつの前記製品幅方向中央を通り、かつ前記製品長手方向に延びる仮想線における前記使い捨ておむつの前側端部と前記曲部との距離は、40mm以上かつ80mm以下である、請求項 1 から請求項 7 のいずれかに記載の使い捨ておむつ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本開示に係る使い捨ておむつは、前胴回り域（前胴回り域 S1）と、後胴回り域（後胴回り域 S2）と、前記前胴回り域と前記後胴回り域との間に位置する股下域（股下域 S3）とを有し、前記前胴回り域から前記後胴回り域に向かう製品長手方向（製品長手方向 L）と、前記製品長手方向と直交する製品幅方向（製品幅方向 W）と、を備え、前記股下域を跨ぎ前記前胴回り域及び前記後胴回り域に延びる吸收性コア（吸收性コア 4_a）と、着用者の腰が挿入される腰回り開口部（腰回り開口部 21）と、前記着用者の脚が挿入される脚回り開口部（脚回り開口部 22）と、を備える使い捨ておむつであって、前記吸收性コアが配置された吸收性コア配置領域には、前記吸收性コアが厚み方向に曲がることができるように形成された曲部（低目付部 41）が形成されており、前記曲部は、前記前胴回り域において前記製品幅方向に延びてあり、前記曲部に沿って配置され、前記製品幅方向に伸縮する第 1 伸縮性部材（第 1 伸縮性部材 11）と、前記第 1 伸縮性部材よりも前記製品長手方向外側に配置され、前記製品幅方向に伸縮する第 2 伸縮性部材（第 2 伸縮性部材 12）と、を有することを要旨とする。